

よつ葉生活協同組合 第 39 回通常総代会を開催しました

今年度も残念ながら新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、規模を縮小しての開催となりました。野木町エニスホールで予定していましたが、昨年度に引き続き、よつ葉生協本部会議室で感染対策を施して実施しました。

118 名の総代には、事前に議案書と書面議決書を送付して議決参加をお願いし、事前質問を受け付けました。当日の質疑、事前質問への回答については、2 ページ以降に掲載しています。

< 報告 >

開催日時：2021 年 6 月 12 日（土曜）AM10：00～11：15

会場：よつ葉生活協同組合 本部 会議室

総代定数：118 名

出席総代数：111 名（本人出席 14 名、代理人出席 0 名、書面議決 97 名）



第 1 号議案 2020 年事業報告承認の件…反対 0、保留 10、賛成 108 で可決しました。

A 食の安全を守り、安心できる食材をお届けする活動

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策 ・有機農業の推進 ・種子を守る活動 ・ホームページのリニューアル
- ・登録野菜セトリリニューアルと豊作野菜(もったいない野菜)の販売開始 ・農薬不使用野菜と地産地消の推進
- ・GMO フリーゾーン登録とフリーゾーンサポーター宣言 ・ネオニコチノイド系農薬不使用の取組み(りんごオーナー)
- ・業務関連委員会の活動

B 理念を共有する仲間を増やし、生協の輪を広げる活動

- ・地域食育活動の推進 ・農業体験の開催(落ち葉さらいのみ、理事・委員会・職員)・専門地区委員会活動とサークル活動
- ・ふれあいまつり in くらら企画の展開 ・コープ共済の推進

C 安心して暮らせる社会をつくる活動

- ・新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金の実施 ・フードバンク地域支援 ・コロナ禍による食糧支援活動
- ・フードバンク茨城「子ども支援プロジェクト」と「県内大学生へ食の支援」への協力
- ・おたがいさま活動、くらしの電話相談共同利用 ・各県の健康づくり運動への協力 ・適格消費者団体設立の支援
- ・脱原発パレード(意見広告)への参加 ・「高校生 1 万人署名活動」への協力(507 枚、1,712 筆)
- ・「令和 2 年 7 月豪雨」災害支援募金の取組み(215 万 300 円) ・日本生活協同組合連合会や各生協連合会との協同活動
- ・よつ葉生協業者協力会との協同 ・生協ネットワーク 21 への事業協力

D 理念を実現するための組織づくり

- ・職場内の新型コロナウイルス感染症予防対策 ・諸規定の見直し ・職場の環境整備、改善等

2020 年度決算報告、剰余金処分

2020 年度決算報告 剰余金処分

(単位：万円)

項目	金額	項目	金額	2020 年度の供給額は、前年対比 120.3%、組合員は、前年比 102.4%で終了。当期未処分剰余金は、20,064 万円でした。剰余金処分に出资配当 0.3%345 万円、利用分量割戻金 0.1%458 万円、法定準備金 600 万円、建設積立金 5,000 万円、システム開発積立金 3,000 万円、災害積立金 100 万円次期繰越金は 10,560 万円となります。
供給額	471,773	特別損失	193	
供給剰余金	135,923	税引前当期剰余金	7,536	
事業経費	134,591	法人税等	2,506	
事業剰余金	1,332	当期剰余金	5,029	
雑収入	6,541	期首繰越金	15,035	
雑損失	144	期末剰余金	20,064	



第 2 号議案 2021 年度事業活動計画及び予算決定の件…反対 0、保留 10、賛成 108 で可決しました。

よつ葉生協 「2021 年度事業数値」計画

(単位：万円)

項目	2020 年実績	2021 年計画	前年比	項目	2020 年実績	2021 年計画	前年比
組合員数	26,109 人	26,310 人	100.8%	販売管理費	134,591	122,200	90.9%
供給高	471,773	384,400	81.5%	営業外損益	6,500	6,500	100%
供給剰余金	135,923	117,600	86.5%	経常剰余	7,536	1,600	21.1%
				出資金	115,200	115,700	100.4%

2021 年度事業・活動方針について

《食の安全を守り、安心できる食材をお届けする活動》

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策 ・有機農業の推進 ・ネオニコチノイド系農薬不使用の取り組み
- ・GMO フリーゾーンの登録とフリーゾーンサポーター宣言の推進 ・品質管理の強化 ・よつ葉だより・ホームページの運用
- ・「暮楽々」商品取り扱い選定基準書見直し

《理念を共有する仲間を増やし、生協の輪を広げる活動》

- ・テーマ『逢えなくても繋がってるよ！よつ葉のわ～つなごう心のきずな～』
 - ・食育活動 ・農業体験 ・生協の輪を広げる活動 ・新規組合員拡大と商品普及活動 ・利用促進の取り組み
- ※農業体験は、新型コロナウイルスの収束状況を見ながらの判断となります。

《安心して暮らせる社会をつくる活動》

- ・おたがいさま活動、くらしの電話相談 ・見守り活動連携 ・フードバンク支援 ・支援募金の継続取り組み
- ・3 県での健康づくり運動 ・脱原発運動への協力と支援 ・「栃木県高齢者運転免許証自主返納サポート事業」への協力
- ・「コープ SDGs 行動宣言」の推進

《理念を実現するための組織づくり》

- ・各諸規定の見直しと改善 ・各行政機関への協力 ・障がい者雇用 ・事業収益の確保 ・生協ネットワーク 21 事業協力

第 3 号議案 みなし脱会処理の実施の件…反対 0、保留 9、賛成 109 で可決しました。

- ・2020 年 8 月末に確定した転居不明組合員 135 名 を脱会として処理することを総代会で承認いただきました。

※出資金については、2 年間の預かり期間を設け、期日後、雑収入処理をします。

なお、それ以降に申入れがあった時は、返金としていきます。

第 4 号議案 定款の一部改定の件…反対 1、保留 9、賛成 108 で可決しました。

定款の見直しを行い、第 4 条(区域)、第 23 条(役員の責任)、第 68 条(事業の品目)に新たに取り扱いを開始する事業の追加改正をします。

1. 第 4 条(区域)を追加し改定します。

追加区域：群馬県 渋川市、北群馬郡吉岡町、北群馬郡榛東村、甘楽郡甘楽町
茨城県 守谷市、つくばみらい市、土浦市、かすみがうら市

2. 第 23 条(役員の責任)条項を変更し改定します。

変更項目：31 条の 7 から 31 条の 9 へ

3. 第 68 条(事業の品目)を追加し改定します。

追加項目：自動車総合保障共済事業(マイカー共済)

上記 3 点とも総代会で承認いただきました。定款の変更を行います。

第 5 号議案 役員報酬上限額決定の件…反対 2、保留 12、賛成 104 で可決しました。

役員報酬審議会で協議された答申を理事会にて決定、総代会において承認をいただきました。

質疑応答の意見等(事前質問含み)

Q.ユニオンソースの「あらごし完熟ケチャップ」に想うことがあります。こんなに美味しい商品が消えてしまうのかと、非常に残念でなりませんでした。会社経営母体が変わり、変化することは否めないとしても商品を継続する方法はないのでしょうか？例えばりんごオーナー制度の様に寄付や募金を集めるとか。オリジナル商品に特化した応援が出来れば良いのですが。よつ葉の商品は美味しいでしょうと皆さんに進めたものだったので、再登場を願っています。

A.今回メーカー統合によりお気に入り商品が取り扱い中止になってしまいご不便をお掛けします。商品担当者も何とか取り扱えないか模索しましたが、現状の価格よりも高価になり組合員に不利益になってしまうため諦めた経緯がございます。今後も良



い商品をご案内出来るよう努めます。

Q.《剰余金処分(案)》について

- 1.利用分量割戻金は、昨年まで項目になかったが、今年度は組合員に還元するのか？別途、金額表示して積み立てるのか？
- 2.法定準備金は、昨年 1,900 万円計上であったが、本来は 600 万円くらいで良いのかどうか？何か他に意図があるのか？

A.1.利用分量割戻金は組合員への還元です。生協定款、第 75 条(利用分量に応ずる割戻し)に記載はありましたが、実施できていない項目でした。1 年間の商品利用に対しての割戻金なので平等感があると考えています。今後も継続して、実施したいと思います。

2.法定準備金については、生協定款、第 72 条出資総額 2 分の 1 に相当する額に達するまで毎事業年度の剰余金の 10 分の 1 に相当する額以上の金額を法定準備金として積立てるとなっています。出資総額の 2 分の 1 に早期で達成するため、昨年までは当期末処分剰余金に対して法定準備金および教育事業繰越を行っていました。今回より、コロナ禍で先の見通しが困難なことから本来の形式に戻し、今後、投資(施設やシステム変更など)も多く発生するため将来に備え積立金を増やすため、変更しました。

Q.《2021 年度事業数値》

総供給高、剰余金、経常剰余金等、従来より低めの(前年対比)予算計上ですが、コロナ収束後を見据えて、堅実な予算立てとなっているのか伺いたい。

A.2021 年度予算作成については、コロナ禍で先の見通しが困難なこともあり、2020 年度の実績対比では比較ができないため、一昨年の 2019 年度実績対比で予算作成を行い、全体的に経費を圧縮して堅実予算としました。

Q.《1 人当たり利用高について》

供給は伸びているのに 1 人当たりの利用高は、いつも 100%を切ってしまいます。職員の方もご苦労されていると思います。地区委員会などでも情報交換し共有してお互いのおすすめ品などお試しています。定期購入品など定着していくと良いと思うのですが、この辺の悩みなどどうでしょうか。

A.2020 年度については、組合員の 1 当たり利用高は前年比 113.6% (+692 円) となりました。ここ数年でもっとも高い利用高となりました。今後も継続してご利用いただけるような商品案内をしていきます。また、PB 商品などよつ葉生協でしか購入できないものをアピールしてリピーターを増やす取り組みにも注力します。

Q.《施設(伊勢崎センター)の老朽化について》

委員会の会議などで使用することがあるが、トイレの改修など検討できないでしょうか？

A.伊勢崎センターについては、築 30 数年が経過し老朽化が目立ちます。また、施設や駐車場など手狭で問題が多々あることから、数年計画で移転を検討しています。

Q.コロナ禍の中で皆さんお疲れ様です。商品を持ってきてもらえるだけでも助かっています。会員を続けていて良かったとつくづく思います。そんな中で各委員会もそれなりに頑張っていると思われます。その委員会の収支が全く分かりませんので開示をお願いします(1 号 2 号議案に付随します)。コロナでそんなに活動できていないと思いますが予算は立てているのでお願いします。本当は会場にて直接聞きたかったのですが、まだワクチンも済んでいないので、今年も書面とさせていただきます。今年度はいくらか前向きになれるかしら…期待しています。

A.昨年度 3 月の緊急事態宣言にともない、全ての地区・専門委員会の活動は停止しました。「よつ葉生協から感染者を出さない」「生協の本体事業をストップさせない」ことを最優先に考えての判断でした。地区・専門委員会の支出は 2,212 千円(予算 3,600 千円)、予算比 61.4%の執行率となりました。よつ葉だよりへの寄稿、理事会や組合員活動会議の報告と確認等を委員会活動とし、SNS と郵送を使った活動となりました。下期から、全委員へ活動費を毎月お支払いしました。

Q.ネットワーク 21 関東連帯協議会として「関東の 4 生協における事業共同を準備しています。先行して、常総生協と冷凍商品の企画を合わせて、仕分セット合同を計画しています。」と現在進行形のような報告であるが、この 1 年間にどれくらい内容に進んでいるのか。特に 4 生協協議については、昨年度の通常総代会議案書には「協議をすすめてきた」とあるのに、今年度は準備しているとあるが、状況は後退しているということなのではないでしょうか。進捗状況についての詳しい説明をお願いします。

A.関東連帯協議会の進捗状況としては、4 生協で合同に取り組むには経費や施設の問題など多々あるため、共同事業として、北 2 生協(よつ葉、常総)での冷凍品合同セット事業を準備立てして来ました。メーカーや企画など具体的な打合せも行いましたが、システム構築経費が高額なため、他の方法を模索している状況です。南 2 生協(自然派くらぶ、ナチュラルコープ)については、基幹システムの構築を行なっています。アドバイザーとしてコープ自然派システム部だった方に参加いただいています。システム構築の進行状況次第で、共同事業として参加します。基幹システムは、単協で構築するには高額なため、4 生協での按分が望ましいと考えています。また、4 生協共同事業としてコープ有機関東支所をよつ葉生協に開設し、出資、運営を行います。関東連帯事業(4 生協)の 1 つとして今年の 10 月からの開始を予定しています。

Q.2020 年決算報告書、事業費の詳細書、人件費の役員報酬科目には、27,135,450 円となっているが常勤理事役員 3 名の報酬総額だけでも、この金額を超える額となるものと推定され、それ以外の非常勤理事への報酬分も加算すると、昨年度総代会決議されている役員報酬額 3,000 万円を超えてしまっているのではないのでしょうか？役員報酬額の詳細について、説明をお願いします。

A.ご指摘の通り、昨年の第 38 回通常総代会で承認いただいた役員報酬額 3,000 万円ですが、総代会議案書作成までに理事



の役務が決定していなかったことも影響し、総代会直後に役員報酬額上限を超えてしまうことが発覚しました。単年の対応として、1 年間渉外担当理事報酬を別科目で計上としました。総代の皆さまには改めてお詫び申し上げます。行政（くらし安全安心課）に指導を仰ぎながら再発防止に努めます。

Q.10 年以上役員報酬限度額は、3,000 万円に変更がなかったのに今回 4,000 万円に変更するのはどんな意図か説明願いたい。

A.役員報酬額の変更は、他の生協や企業をみても上限に余裕を持たせていることから、今後を見据えた変更であることをご理解願います。

Q.関東連帯協議は、この 1 年間で何も進捗していないように思うが如何なものか。また、責任の所在は誰にあるのか伺いたい。

A.コロナ禍で相対しての直接会議は行えなかったが、リモート会議にて優先すべき事項について論議を進め、(株)コープ有機より提案いただいた、関東支所設立の件を共同事業として進めることで合意形成がされています。

また、責任の所在については、4 生協の専務理事であると認識し、協議を進めてまいります。

- ・会議やイベント等、マスク(フェイスシールド含む)が体質的にできない人もいますので、個人が自由に選択できると良いと思います。少数とはいえマスクが辛くて苦しんでいる人も居ます。マスクの着用をお願いしますと言う場所、会議には出られません。マスクは何か症状があったり不安な人がするのも自由ですし、しないのも自由な世の中に戻って欲しいです。1つ1つの企業個人の意識次第だと思うので、組合員の方々には、TV、ネット、政治とは別の所の情報も提供して貰えたら助かります。
- ・今後も食を取り巻く環境についての“確かな情報”の提供を期待しています。また、遺伝子組み換えやゲノム編集等、安全性に不安がある技術についても今まで同様、声を上げるべきところはしっかり声を上げ意思表示し、誰もが安心して暮らせる環境を組合員一同目指していきたいと考えます。
- ・商品開発に取り組み地元の食材を生かした「安心・安全栄養豊かな」商品が増えていくことを喜んでいます。紹介される商品を購入し試させて頂いています。今後もよつ葉生協の理念に合致した取り組みに大いに期待し、協力して行きたいと思っています。

A. 温かい励ましのお言葉や率直な感想をお寄せいただきありがとうございます。今後とも組合員皆さまの期待に応えるべく生協、生産者・業者と一体となって事業を進めてまいります。

文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。

小山

●イベント 栃木県初・自主上映会

「タネは誰のもの」

監督・撮影・編集：原村政樹

プロデューサー：山田正彦 語り：江原啓之

音楽：鈴木光男 (上映時間 65 分)

●日 時 7月24日(土) ①10:00～(解説：印鑰智哉氏)

②14:00～(解説：山田正彦氏)

●会 場 小山市民文化センター 小ホール

(栃木県小山市中央町 1-1-1)

●料 金 一般 1200 円 会員 1000 円

生産者と育種権者 それぞれの思い——

2020 年 6 月国会成立が見送られ、継続審議となった種苗法改定の動きに対して賛否が渦巻く中、自主採種・自家増殖している農家と種苗育成農家の双方の声を伝えるため、北海道から沖縄まで様々な農家の現状を取材。政府が拙速に改定を成立させようとしている中、種苗法改定(案)が日本の農業を深刻な危機に陥れる可能性を、専門家の分析も含め農業の現場から探った——

●共 催 小山っ子の未来を守る会・種子の会とちぎ

●問合せ TEL 080-4110-4345 (石川)

kyusyoku oyama@gmail.com

●申込み 「こくちーず」から

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (6月4週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位：円)

栃木コロナ支援あい基金 (860 番)	4, 800
群馬コロナウイルス対策募金 (861 番)	3, 200
茨城誰かのために募金 (862 番)	1, 200
合 計	9, 200

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口 100 円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (6月4週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位：円)

放射能から子どもを守る募金 (900 番)	6, 000
震災孤児を支援する募金 (910 番)	26, 600
「有機農業と国産種子」募金 (920 番)	9, 300
合 計	41, 900

共同購入注文書裏の「10 品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側「企画商品」内の「復興支援募金」をクリック。一口 100 円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp



ホームページ



Facebook



Instagram

